

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 インフォメーション・ディベロプメント
 コード番号 4709 URL http://www.idnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

(氏名) 船越 真樹
 (氏名) 山内 佳代

TEL 03-3264-3571

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	13,328	—	774	—	776	—	395	—
20年3月期第3四半期	12,918	29.1	828	43.0	818	40.6	395	19.3
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
21年3月期第3四半期	53.26		53.20					
20年3月期第3四半期	52.75		52.61					

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	9,310	—	5,715	—	59.5	745.48	—	
20年3月期	9,620	—	5,418	—	55.0	712.14	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,537百万円 20年3月期 5,288百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	19,050	5.6	1,270	5.8	1,250	4.9	670	12.6	90.20	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社シー・エイ・ティ) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 8,029,535株 20年3月期 8,026,675株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 601,606株 20年3月期 600,556株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 7,426,710株 20年3月期第3四半期 7,492,990株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における情報サービス産業は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の影響を受け、国内景気が後退局面に入るなか、企業のIT投資計画の先送りや抑制が顕著になりつつあります。この情勢を受け、顧客による選別化や低価格化競争にいつそう拍車がかかり、受注環境は非常に厳しい状況下となっております。

経済産業省が行っている特定サービス産業動態統計調査（平成21年1月23日発表）によりますと、業界全体の売上高は、4月から8月までは対前年比増加を続けたものの、9月、10月、11月は減少に転じております。

このような事業環境において、当社グループは、グループ一体となって競争力の強化および収益力の向上に努めるべく、グループ全体での資源調達、外注と内製のバランスの見直し、拠点活用などの業務の効率化に取り組むとともに、グループの総合力を活かし既存のお客様を中心にBOO（注）の推進による総合的なサービス提供、プロジェクト管理の強化、生産性の向上、高品質サービスの維持などに努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は133億28百万円（前年同期比3.2%増）となりました。これは主として、システム運営管理部門の売上高が5.1%増加したことによるものです。

収益面においては、パートナー（提携関係を結んでいる外注先IT企業）の効率的な活用、品質・生産性の向上に取り組んだものの、販売費及び一般管理費は増加を抑制するに至らず、営業利益は7億74百万円（前年同期比6.5%減）、経常利益は7億76百万円（前年同期比5.2%減）となりました。当期純利益につきましては、前年同期に比べ特別損失が減少したことにより、3億95百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの部門別売上高は、次のとおりであります。

①システム運営管理部門

低価格化や受注競争が激化する中で、システム運営管理業務のアウトソーシング化の需要を捉え、既存顧客における個別案件の売上が増加したことにより、売上高は71億43百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

②ソフトウェア開発部門

一部子会社における開発案件の受注減があったものの、当社の既存顧客における金融・保険関連の受注が引き続き堅調に伸びたことにより、売上高は46億88百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

③データ入力部門

証券業務の個別案件増および株式会社シィ・エイ・ティを連結子会社化した効果等により、売上高は11億21百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

④その他（セキュリティ業務、コンサルティング業務等）

セキュリティ業務およびコンサルティング業務の受注が減ったことにより、売上高は3億75百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

なお、前年同期比につきましては、当連結会計年度より会計基準が変更されているため、参考として記載しております。

（注）BOO（ビジネスオペレーションズアウトソーシング）とは、お客様のコンピュータ部門からの直接的な業務の獲得に止まらず、関連する業務の川上から川下に至る広い範囲のビジネス展開です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第3四半期末における財政状態の変動状況は、前連結会計年度末に比べ、総資産では3億9百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少93百万円、売上債権の減少5億74百万円、仕掛品の増加3億6百万円、のれんの増加2億93百万円および繰延税金資産の減少2億67百万円などによるものであります。負債の減少6億6百万円は、主に仕入債務の減少91百万円、有利子負債の増加1億76百万円、未払法人税等の減少2億81百万円および賞与引当金の減少4億90百万円などによるものであります。純資産は四半期純利益3億95百万円および配当金の支払1億41百万円などにより2億96百万円増加し、自己資本比率は59.5%となりました。

なお、第2四半期末において新たに株式会社シィ・エイ・ティを連結したことに伴い当第3四半期末では流動資産1億30百万円、固定資産21百万円、のれん3億40百万円、流動負債42百万円および少数株主持分44百万円が増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期連結会計期間末に比べ2億47百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には14億37百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億98百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益7億68百万円、売上債権の減少6億7百万円、たな卸資産の増加3億円、賞与引当金を含むその他の流動負債の減少額3億49百万円および法人税等の支払額4億4百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億24百万円となりました。

これは主に、新規連結子会社株式会社シー・エイ・ティの取得による支出3億39百万円、有形固定資産の取得による支出56百万円および無形固定資産の取得による支出27百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は32百万円となりました。

これは主に、長期借入れによる収入3億円、長期借入金の返済による支出33百万円、社債の償還による支出89百万円、配当金の支払額1億40百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国発の金融危機が実態経済に波及し、世界的な金融不安が高まるなか、国内の急激な景気減速が企業の情報化投資行動に影響を与えることが予想されるなど、当社グループを取り巻く経営環境はいっそう厳しい状況が継続するものと予想しております。

このような状況ではありますが、当社グループの平成21年3月期の連結業績予想は、既存顧客における情報化投資動向から、受注、売上とも期初計画の水準を確保できるものと見込んでおります。現時点で平成20年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループは、グループ全体の資源調達、拠点活用など、業務の効率化に持続的に取り組み、期初の計画達成に向けて努力してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

株式会社シー・エイ・ティの株式を平成20年8月に2,817株、平成20年9月に50株取得(計2,867株、所有割合59.5%)し、株式会社シー・エイ・ティを第2四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めております。

なお、株式会社シー・エイ・ティは特定子会社に該当しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産(商品)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,457,294	1,550,449
受取手形及び売掛金	2,058,288	2,632,392
仕掛品	539,776	232,958
その他	292,634	433,887
流動資産合計	4,347,993	4,849,688
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,686,795	1,686,795
その他(純額)	761,943	797,115
有形固定資産合計	2,448,739	2,483,911
無形固定資産		
のれん	857,268	564,242
ソフトウェア	85,910	95,291
その他	9,369	9,290
無形固定資産合計	952,548	668,825
投資その他の資産	1,561,127	1,617,764
固定資産合計	4,962,415	4,770,502
資産合計	9,310,408	9,620,190
負債の部		
流動負債		
買掛金	340,969	432,870
短期借入金	730,000	730,000
1年内償還予定の社債	61,160	119,420
1年内返済予定の長期借入金	100,200	—
未払法人税等	4,914	286,832
賞与引当金	152,626	643,271
役員賞与引当金	18,376	26,130
受注損失引当金	11,987	1,136
その他	804,974	668,337
流動負債合計	2,225,208	2,907,998
固定負債		
社債	—	31,450
長期借入金	166,400	—
退職給付引当金	746,475	822,871
役員退職慰労引当金	456,978	438,881
固定負債合計	1,369,854	1,293,203
負債合計	3,595,062	4,201,201

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,344	591,541
資本剰余金	545,719	544,942
利益剰余金	4,852,794	4,598,311
自己株式	△429,761	△429,119
株主資本合計	5,561,097	5,305,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,167	△20,103
為替換算調整勘定	2,460	2,834
評価・換算差額等合計	△23,707	△17,268
少数株主持分	177,955	130,582
純資産合計	5,715,345	5,418,989
負債純資産合計	9,310,408	9,620,190

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	13,328,733
売上原価	10,815,975
売上総利益	2,512,757
販売費及び一般管理費	1,737,804
営業利益	774,953
営業外収益	
受取利息	983
受取配当金	12,241
受取保険金及び配当金	6,583
その他	11,512
営業外収益合計	31,320
営業外費用	
支払利息	11,169
コミットメントライン手数料	17,033
その他	1,977
営業外費用合計	30,180
経常利益	776,092
特別利益	
固定資産売却益	74
投資有価証券売却益	38
貸倒引当金戻入額	8,900
特別利益合計	9,012
特別損失	
固定資産売却損	654
固定資産除却損	737
投資有価証券売却損	20
投資有価証券評価損	3,886
解約清算損	11,330
特別損失合計	16,627
税金等調整前四半期純利益	768,477
法人税、住民税及び事業税	97,468
法人税等調整額	274,724
法人税等合計	372,192
少数株主利益	△706
四半期純利益	395,578

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	768,477
減価償却費	107,501
固定資産除却損	737
固定資産売却損益(△は益)	580
投資有価証券評価損益(△は益)	3,886
のれん償却額	65,851
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,900
受注損失引当金の増減額(△は減少)	10,851
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△76,395
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,096
受取利息及び受取配当金	△13,224
支払利息	11,169
為替差損益(△は益)	△409
売上債権の増減額(△は増加)	607,529
たな卸資産の増減額(△は増加)	△300,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,499
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△60,987
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△349,310
その他	23,358
小計	699,360
利息及び配当金の受取額	12,966
利息の支払額	△9,693
法人税等の支払額	△404,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△56,300
有形固定資産の売却による収入	1,621
投資有価証券の取得による支出	△450
投資有価証券の売却による収入	242
無形固定資産の取得による支出	△27,224
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△339,978
貸付けによる支出	△3,570
貸付金の回収による収入	935
その他	413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424,310

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△33,400
社債の償還による支出	△89,710
株式の発行による収入	1,607
自己株式の取得による支出	△746
自己株式の売却による収入	78
配当金の支払額	△140,546
少数株主への配当金の支払額	△4,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△93,155
現金及び現金同等物の期首残高	1,530,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,437,294

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、情報サービス事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 売上高	12,918,850
II 売上原価	10,481,161
売上総利益	2,437,689
III 販売費及び一般管理費	1,608,898
営業利益	828,790
IV 営業外収益	22,756
V 営業外費用	33,212
経常利益	818,334
VI 特別損失	79,483
税金等調整前四半期純利益	738,851
法人税、住民税及び事業税	140,428
法人税等調整額	193,107
少数株主利益	△10,034
四半期純利益	395,281

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	738,851
2 減価償却費	103,322
3 売上債権の増減額	524,944
4 たな卸資産の増減額	△311,264
5 仕入債務の増減額	△93,189
6 その他	△396,237
小計	566,425
7 法人税等の支払額	△396,626
8 その他	△1,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,922
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の解約による収入	50,000
2 有形固定資産の取得による支出	△76,562
3 投資有価証券の取得による支出	△486
4 無形固定資産の取得による支出	△25,664
5 その他	10,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,417
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	△68,000
2 長期借入金の返済による支出	△76,902
3 社債の償還による支出	△37,710
4 自己株式の取得による支出	△107,051
5 配当金の支払額	△135,450
6 その他	△3,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,856
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,323
V 現金及び現金同等物の増減額	△304,675
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,494,385
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,189,709